令和３年度　香川県高等学校新人バスケットボール大会

開催にあたっての安全対策ガイドライン

香川県高等学校体育連盟バスケットボール専門部

１．大会開催にあたって

1. 「JBAバスケットボール活動再開に向けたガイドライン第４版」に則り、大会を開催する。
2. 基本的に無観客であるが、人数を制限したうえで観戦を認める。

※監督・選手・役員等関係者以外に各チーム15名以内の観戦を認める。

※学校関係者（管理職）、控え選手、保護者（家族）のみ制限人数内の入場を認めるが、

健康チェックシートの提出、マスクの着用、声を出しての応援の禁止を条件とする。

※部員以外の応援生徒、他校の選手、卒業生、一般の観客は入れない。

※体育館外からの見学も禁止とする。

※写真屋、報道関係者は別に入場を認める。

1. 参加選手（控え選手含む）は、必ず同意書兼健康チェックシートを顧問に提出し、試合当日

検温したうえで、健康チェックシート（チーム用）に記入しておくこと。

※顧問は、発熱等の症状の有無を確認し、異常がみられる場合は本部に報告すること。

また、同意書兼健康チェックシートは試合後1か月保管しておくこと。

※発熱等の症状が見られる場合、当該選手の大会参加は認めない。チームの大会参加に

ついては、学校長の判断とする。

1. 体育館に入場する保護者、学校関係者は、健康チェックシート（一般用）を各校顧問に提出

すること。

※試合当日37.5℃以上の発熱があれば入場できない。

※２日目以降、同じ人が入場する場合は、当日検温し、選手と同じ健康チェックシート（チ

ーム用）に記入すれば入場できる。

※顧問は、健康チェックシートを試合後１ヶ月保管しておくこと。

1. 役員、報道等で入場する場合は、健康チェックシート（一般用）を本部に提出すること。

※試合当日37.5℃以上の発熱があれば入場できない。

1. 保健所より、接触者、濃厚接触者と認定され自宅待機になっている選手は参加できない。
2. 参加予定の学校で、休校、学級閉鎖等の措置が取られている場合の参加については、学校長の判断とする。
3. 全国や県内の感染状況に応じて、大会を急遽中止することがある。
4. 大会が中止となった場合、四国大会の出場校選出に関しては、主催者で検討する。

２．大会中の具体的な感染防止対策について

1. 密閉空間を避けるため、会場出入口、窓は常に開けておくこと。
2. 更衣室の利用は短時間とし、密集を避けること。また、使用後は各チームで消毒を行うこと。
3. 体育館入場の際は、必ずアルコール消毒（各チームで準備）を行うこと。
4. 監督・選手・役員は、試合出場時以外はマスクを着用し、手指消毒をこまめに行うこと。
5. 体育館への入場は、試合開始１時間30分前からとし、試合後は速やかに退場すること。

※高校会場の待機場所は、体育館外とする。

※牟礼総合体育館は、体育館２階アリーナとする。

1. フロアへは、前の試合のチームが退場し、ベンチの消毒が終わってから入場すること。
2. 試合が終われば、フロアから速やかに退場し、手洗いと手指消毒をすること。
3. 毎試合後、タイマー・ベンチの消毒をすること。（ボールは劣化が激しいので消毒しない。）

※各チームは、自チームが使用したベンチの消毒をすること。

1. 密接場面を避けるため、握手やハイタッチ等をしないこと。
2. 水分補給のための飲料は、各自で用意し、回し飲みはしないこと。
3. 各チーム、個人で出たゴミは必ず持ち帰ること。決して会場のゴミ箱等に捨てないこと。
4. 保護者は、体育館以外の学校施設内には立ち入らないようにし、試合が終われば速やかに

校外にでること。

1. 会場ごとの注意事項を遵守すること。

３．試合時間、アップについて

1. 試合開始時間は、定刻とするが、遅れた場合は、前の試合のチームが退場し、消毒終了後、アップの準備ができてから10分後とする。
2. 次の試合のチームのハーフタイムのコートでのアップは、全員がマスクを着用してエントリー

メンバーのみのシューティングであれば認める。その際声を出すことは禁止とする。

４．大会後に参加者の中から感染者等が判明した場合について

　(1)　各学校や行政機関の指示に従い、高体連に報告すること。県教育委員会と協議の上、その

後の大会運営に支障があると判断した場合は大会を中止することがある。